

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

秋田県 高校入試情報

令和7年度秋田県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問数：地2・歴1・公1の計4問（昨年と同じ）

○小問数：39問（昨年は38問）

○文章記述問題は10問（昨年と同じ）

●出題傾向について

○文章記述問題が比較的多く、穴埋め・使用語句指定・資料を読み取って記述など様々な形式で出題されている。

○とくに地理・公民では、各種統計表やグラフが多く使われている。さまざまな資料の見方を練習しておくことが必要。

★秋田県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

文章記述問題の出題

●記述問題は、複数の資料から読み取り考えられることを指定語句や穴埋めで記述させる形式で出題されているため、簡潔に記述内容をまとめる力が必要。

新研究で対策！

●巻頭の「社会のキホン～記述問題の答え方～」(p.2～3)と、「文章記述問題はこわくない！」(p.184～187)で記述問題のポイントがつかめます。

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p.194～197)では、複数の資料を用いた問題など、思考力を必要とする問題が練習できます。

統計表の問題の出題

●各分野において、統計やグラフなど複数の資料から読み取り問題が出題されているため、さまざまな資料に慣れておくことが必要。

新研究で対策！

●「即効チェック」①②入試によく出る！地理世界/日本の重要資料(p.166～169)で、よく出る産業関係の統計を練習するとともに、統計表の読み取り方を学習できます。

★新研究で出題した秋田県の入試問題(令和7年度)

◆p.7 大問1 ◆p.7 大問1 ◆p.11 大問2 ◆p.17 大問1 ◆p.23 大問1 ◆p.43 大問2

◆p.61 ◆p.81 大問3 ◆p.89 大問3 ◆p.137 大問2 ◆p.145 大問1 ◆p.150 大問1

◆p.157 大問3 ◆p.187 大問5

秋田県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！

★秋田県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
		日本の姿		●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●	●
		アジア州	●	●		●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	●	
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●	
		地域調査の手法	●			
		日本の自然, 人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	
		九州地方, 中国・四国地方	●		●	
		近畿地方, 中部地方			●	
		関東地方, 東北地方, 北海道地方				●
	歴史的分野	文明のおこりと日本		●	●	●
		古代国家の歩み	●	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一		●	●	
		近世社会の発展	●	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●			
		近代日本の歩み	●		●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活	●			
		個人の尊重と日本国憲法		●	●	●
		現代の民主政治, 国会				●
		内閣・裁判所, 三権分立		●	●	
		地方自治	●	●		●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●	●
地球社会と私たち		●		●	●	
分野統合						
出題形式別の傾向	大問数	4	4	4	4	
	小問数	37	41	38	39	
	記号解答	20	18	18	20	
	用語記述	9	15	10	9	
	文章記述	8	8	10	10	
	作業・作図					